

2014.9月

品質月報

Monthly Quality Report

9月号 INDEX

9月号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「広島土砂災害の対応」

PAGE 5 ……今月の品質状況

市場不良率推移

PAGE 6 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)

PAGE 8 ……活動報告

『第3回 SSG技術発表会』開催



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗



石井宏宗

「広島土砂災害の対応」



2014年8月20日午前3時20分から40分にかけて、局地的な短時間大雨によって安佐北区可部安佐南区八木・山本・緑井などの住宅地後背の山が崩れ、同時多発的に大規模な土石流が発生した。4時20分頃には可部3丁目付近で根谷川が氾濫した。広島市災害対策本部のまとめでは、8月22日時点で少なくとも土砂崩れ170ヶ所、道路や橋梁への被害290か所が確認された。また国土地理院が航空写真を解析した結果、安佐南区から安佐北区にかけて約50ヶ所で土砂流出が発生しているものとみられている。土砂流入発生前から複数の通報が寄せられたが、安佐南区山本地区では3時20分がけ崩れの通報があったにもかかわらず広島市からの避難勧告の発令は4時30分になっており1999年に発生した6.29豪雨災害の教訓が生かされなかったと指摘された。

課題① 広島市による避難指示の致命的な遅れについて。

広島市では、15年前の教訓も踏まえ、「避難基準雨量」という避難勧告にあたっての独自の基準も定め詳細なマニュアルを策定していましたが、災害担当職員の未熟さからか判断が決定的に遅れてしまいました。これは、広島市だけの課題ではありません。

実際、8月25日に起こった北海道礼文町の土砂災害では、北海道庁からの再三の勧告にもかかわらず礼文町は遂に避難勧告を出すことすらできず、二人の犠牲者を出してしまいました。このように、自治体による地域防災計画は、国の責任においても一度総点検すべきです。

課題② 現行の土砂災害防止法の限界について。

この法律は、15年前の同じ広島市で起こった土砂災害(土砂崩れ300ヶ所、31人死亡)の教訓から制定されたものです。

全国の地質・地形調査を通じて認定した「土砂災害危険箇所」(52万ヶ所余)をそれぞれ危険の度合いに応じて「警戒区域」「特別警戒区域」に指定し、土地利用規制や住民退避の防災計画に活かして行こうという趣旨です。しかし、今回の災害発生地区はいずれも「危険箇所」と認定されながら、警戒区域に指定されていなかったのです。したがって、広島市の避難指示も遅れ、住民にもそれほど危険な地域に住んでいると言った自覚が希薄だったのです。これが今回70人を超える死者を出してしまった直接の原因といえます。

<教訓を糧に>

先月号の同じことを繰り返し記載します。それだけ重要だと言う事一人でも多く認識していただきたく思っています。

何事にも後悔を反省して次に活かして行けばよいのです。

教訓(失敗)を糧にすればよいのです。

「Do it the first time」も大切ですが、

「Do it the next time」をきちんと実行すれば、信用を失墜することはないからです。

<当り前のことを当り前にやる>

このことが一番大切であり、最も難しいことである。

これを継続していくには、「個人の意志」が最も大事である。

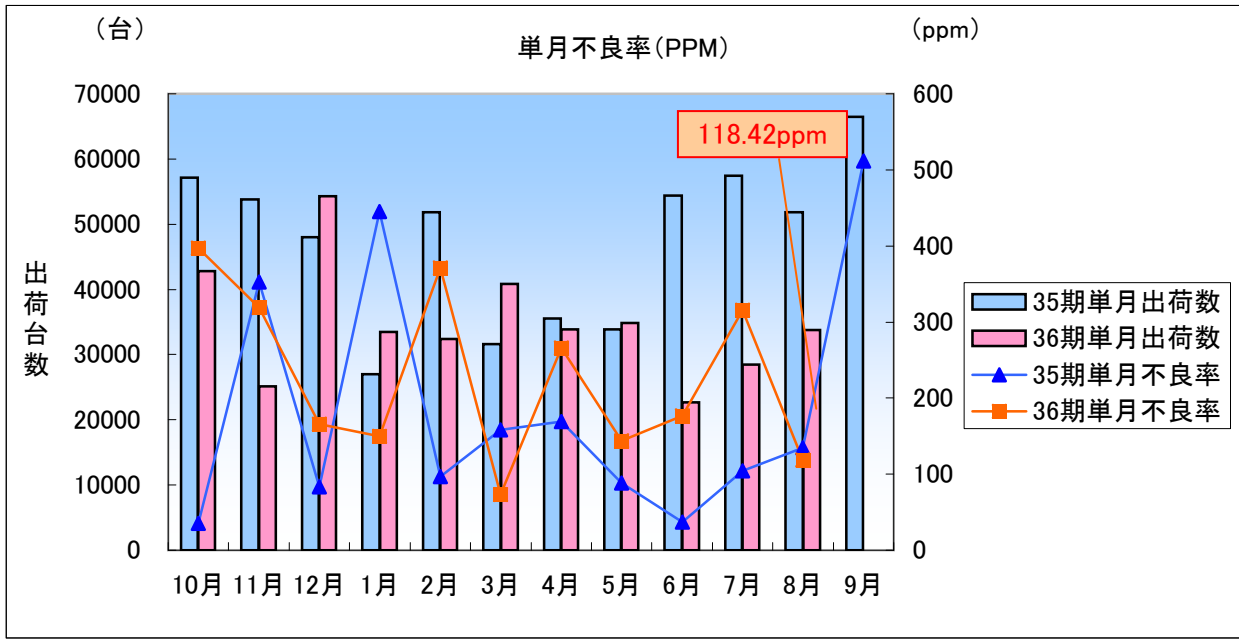
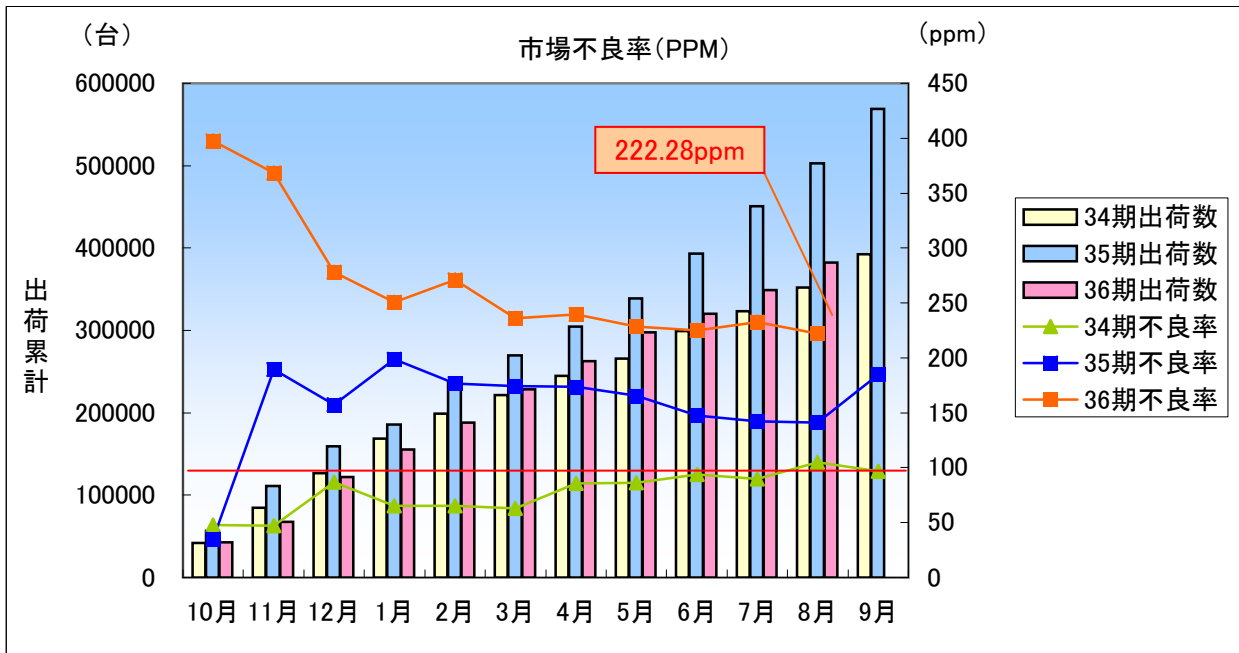
今月の品質状況

36期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

36期の7月終了時点の不良率は**222.28ppm**です。

市場不良累計は 85件（その他 MOSFET 207件）
今期も残すところ1月です。目標達成は困難ですが、出来るだけのことをやりたいと思います。

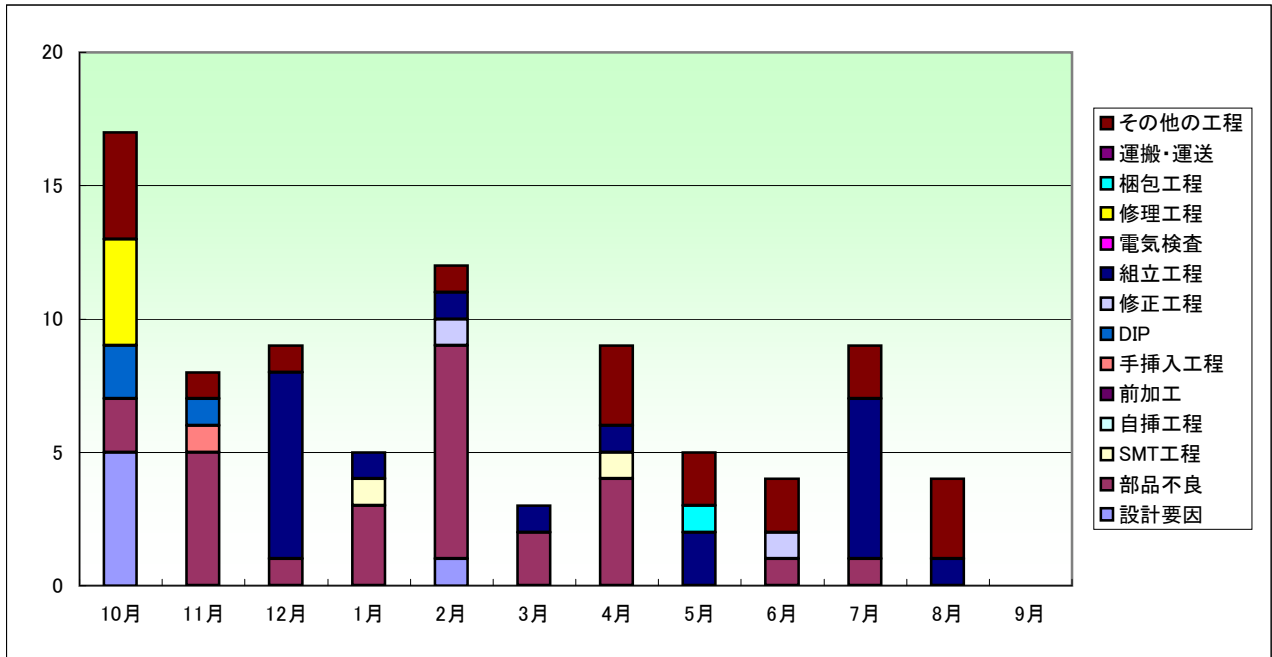


8月の単月不良発生率は4件発生で 118.42ppm です。
製造不良 1件、その他 3件
部品不良はMOSFET不良26件を除いています。

品質状況詳細

原因別、並びに工程別市場不良発生状況

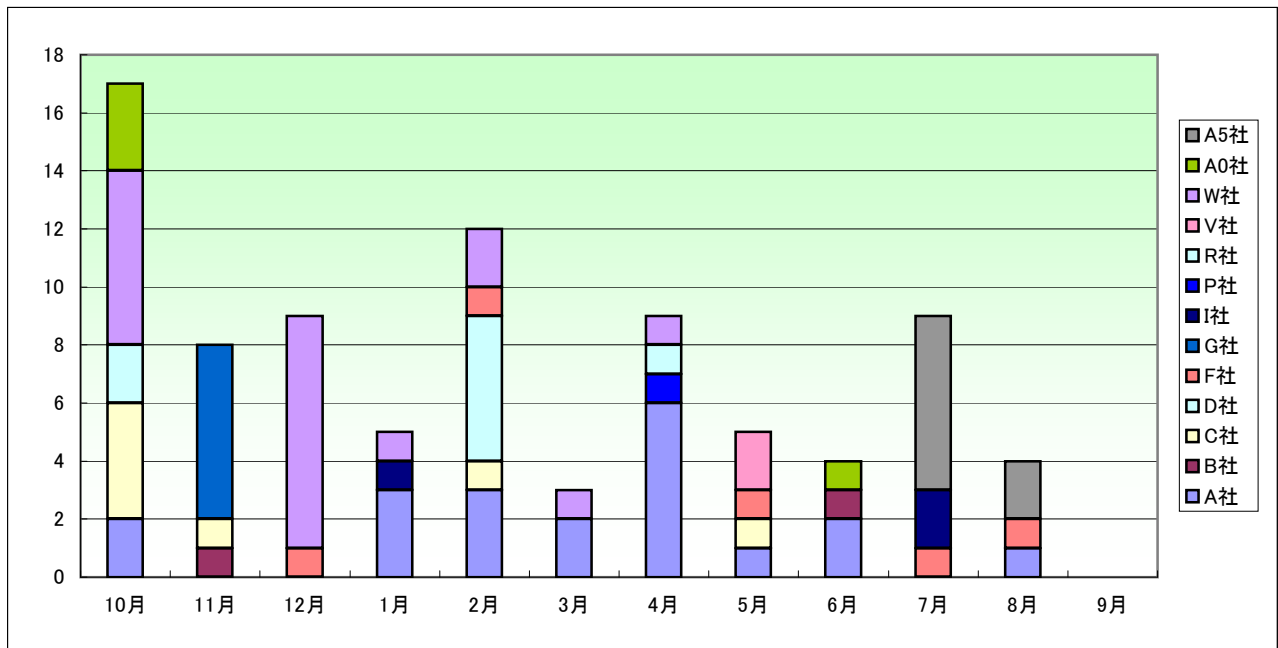
工程別不具合



8月までの工程別不具合

部品不良 27件、組立工程 20件、不明 19件、設計要因 6件、修理工程 4件
不明不良が多くなってきており、解析力のアップが急務です。

客先別不具合



客先別累計不良発生率

A5社	8件/2,372台 (3373ppm)	W社	19件/5,854台 (3246ppm) 変化なし
A0社	4件/2,500台 (1600ppm)	I社	3件/3,300台 (909ppm)
V社	2件/3,000台 (667ppm)	A社	20件/31,348台 (638ppm)

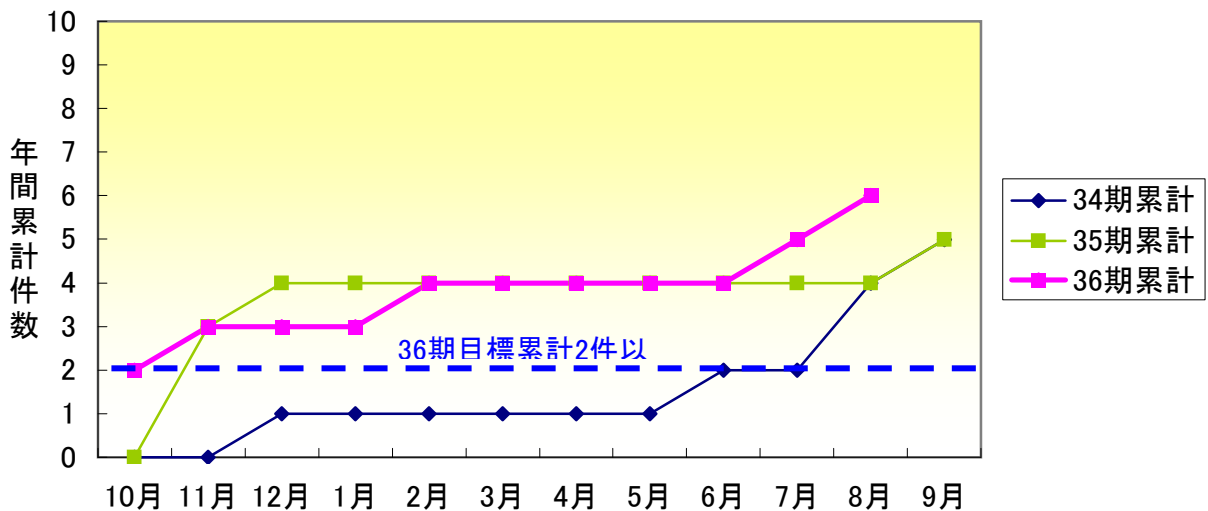
品質状況詳細

クレーム発生状況

クレーム発生推移

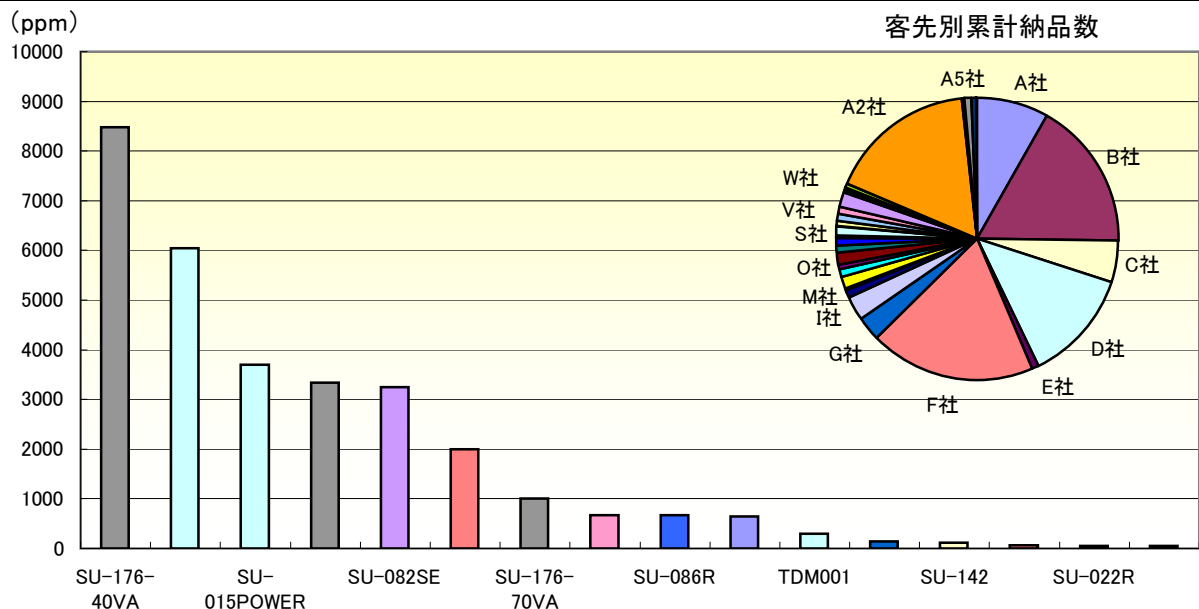
「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

対前年度クレーム件数推移(36期)



クレーム不良合計6件。
8月クレーム不良1件発生、納品分の全数見直しを実施しました。

機種別累計不良率



機種別累計不良率(不良率ワースト5)

順位	機種	客先	不良数/納品数	単機種不良率
①	↑ SU-176-40VA	(A5社)	4件/472台	8475ppm
②	→ SU-015MAIN	(R社)	2件/331台	6042ppm
③	↑ SU-015POWER	(R社)	1件/270台	3704ppm
④	↑ SU-175	(A5社)	3件/900台	3333ppm
⑤	↓ SU-082SE	(W社)	19件/5,854台	3246ppm 変化なし

『第3回 SSG技術発表会』開催

SANSHIN大学のプログラムのひとつに、SSG開発部門の業務活動成果発表の場として『SSG技術発表会』が組み込まれています。

8/21に『第3回SSG技術発表会』が実施されましたので、ご紹介します。

第3回の今回の発表は下記のテーマおよび発表者で開催されました。

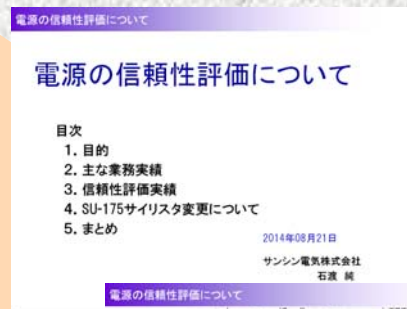
1. 「電源の信頼性評価について」

SSD TECHNOLOGY CENTER DESIGN PJT

石渡 純



入社より品質保証の業務に携わった中で、
実際に行った信頼性評価項目の説明と、
その評価の結果、部品交換が必要になった
場合の検討内容などについて発表を
行いました。
社内の皆様の前で発表の機会を頂き、



『SSG技術発表会』は今後も適時開催される予定です。